

コンチェルト B 部門

- ・ショパンのスタイルは独特なので、声楽的な要素や華やかな面を意識しましょう。
- ・ショパンのルバートや即興性を更に重視し、自然さや突発性、自発性をもって弾きましょう。
- ・ニュアンスを更につけ、フレキシブルな強弱にしましょう。
- ・調性や和声の変化にもっと意識を向け、音色に変化を添えましょう。
- ・楽譜の指示、表現や明瞭さなどに適したテンポを選びましょう。
- ・コンチェルトでは大きく複雑な形式の一貫性を保ちましょう。
- ・長いフレーズを感じ、大きな感情のラインを構築しましょう。
- ・第1主題と第2主題のコントラストをよりはっきり感じましょう。
- ・モチーフやフレーズの最後の音に気をつけましょう（アクセントはつけず、やさしく）。

皆よく頑張って暗譜でコンチェルトに挑戦した。ぎりぎりでテンポも遅く、間に合わなかった感じの参加者もいたが、とにかく動画を撮り、自宅にこもらなければいけないコロナ禍で、トライすることに意義があると思う。

全体に感じたことは上手な方も勿論いらっしゃいましたが、テンポの設定の甘い方や、其々のフレーズが繋がらず、まとまりの悪い方、構築の仕方の不味さから全体を通すとバラバラでチマチマした音楽になっておられる方など、残念に思いました。左手の聴き方の甘い方、意外と多かったです。ハーモニーの違いは左手に来ているのでこのことはもっと気をつけてほしいです！

全体的には、とても良く練習され弾き込まれています。ショパンの切なく美しいメロディの歌い方が自然で情景が浮かび心に響く演奏がある反面、歌い方が単調で一本調子で音色の変化が少ない演奏もありました。難しいテクニックを克服して音楽の流れが停滞しないようにして下さい。弾くことに一生懸命になりすぎず心からショパンの美しいメロディを味わい歌って奏でてください。心に響く素敵な演奏もあり涙が出そうでした。

全体として良好に取り組んでいます。テクニックはその曲のレベルに十分に達しています。ただ、音楽的に未消化の部分が若干見られる人がいました。

演奏される曲目には長期間、参加者が取り組まれ、それぞれの思いを込められての出来を披露される満足度高い演奏に、次はどんな展開が表現されるか期待を膨らませて、ヘッドホーンから流れる音色で画面に吸い寄せられました。録画されるにあたっての場所選び、ビデオ撮りはどのようにするか、過去の出場者は様子が分かるでしょうが、第2ピアノの蓋の開ける高さ、といろいろ気配りに神経を使われた事かと思えます。審査側にとりましては毎年ホール全体の音の響き、ステージ（ピアノ）との距離でのバランスでさせて頂くのと、パソコンに写る奏者の近さの画像に新鮮さがありました。

皆様熱心に真摯に曲に向き合って勉強なさり素晴らしいと思います。大変良くさらってありよく弾かれています。ただし技術的にガッチリきっちり弾いている感じで、勿論弾く事が大変ですが、呼吸とかやわらかさとか大きなフレーズとか、Chopin は音で何を表現したかったのかを伝えて下さる演奏は少なかった様に思います。ピアノを弾いて練習するだけでなく、楽譜を読んで深く考える時間も大切かと思いました。